



SOMPOシステムズ

安心・安全・健康のテーマパーク

Zabbix Conference Japan 2020

SOMPOシステムズにおける Zabbix監視基盤とは

2020年11月13日

SOMPOシステムズ

ITサービス本部
サーバー運用基盤サービスグループ
金子 優介

会社紹介

- ・ 商号 S O M P O システムズ株式会社
- ・ 代表者 代表取締役社長 浦川 伸一
- ・ 本店所在地 東京都立川市曙町二丁目4 1 番 1 9 号
- ・ 事業内容 コンピュータおよび関連機器による
情報処理サービスの受託業務
ソフトウェアの開発受託および販売業務 等
- ・ 資本金 7,000万円
- ・ 従業員数 1,612名
(男性：1,100名 女性：512名／2019年12月現在)
- ・ 主要取引先 損害保険ジャパン株式会社
セゾン自動車火災保険株式会社
S O M P O ひまわり生命保険株式会社
他 S O M P O グループ関連会社

経営基本方針“O u r W a y ”

S O M P O ホールディングスグループのブランドスローガン「安心・安全・健康のテーマパーク」
“O u r W a y ”はその実現に向けて、グループIT企業の社員である私たちの「共通の価値観」と「とるべき行動」を示したものです。

ミッション

- ・ I C T ・デジタル技術・データを活用した最適なソリューションを提案・維持することで、グループが取り組む社会的課題の解決に貢献する。
- ・ 柔軟性と効率性の高いシステムを構築することで、お客さまの体験価値向上と高い収益性の実現に貢献する。
- ・ 一人ひとりが高い技術力を持ち他者と協業するプロフェッショナル集団になることで、頼りになるIT企業になる。

グループの戦略的IT企業として、S O M P O ホールディングスが展開する5つの事業分野において、
先進のI C T ・デジタル技術を基軸にお客さまおよびS O M P O グループ各社を強力に支援する役割を担っています

①国内損保事業

②国内生保事業

③介護・ヘルスケア事業

④海外保険事業

⑤デジタル事業

自己紹介

- 金子 優介

- 所属

SOMPOシステムズ株式会社
ITサービス本部
サーバー運用基盤サービスグループ

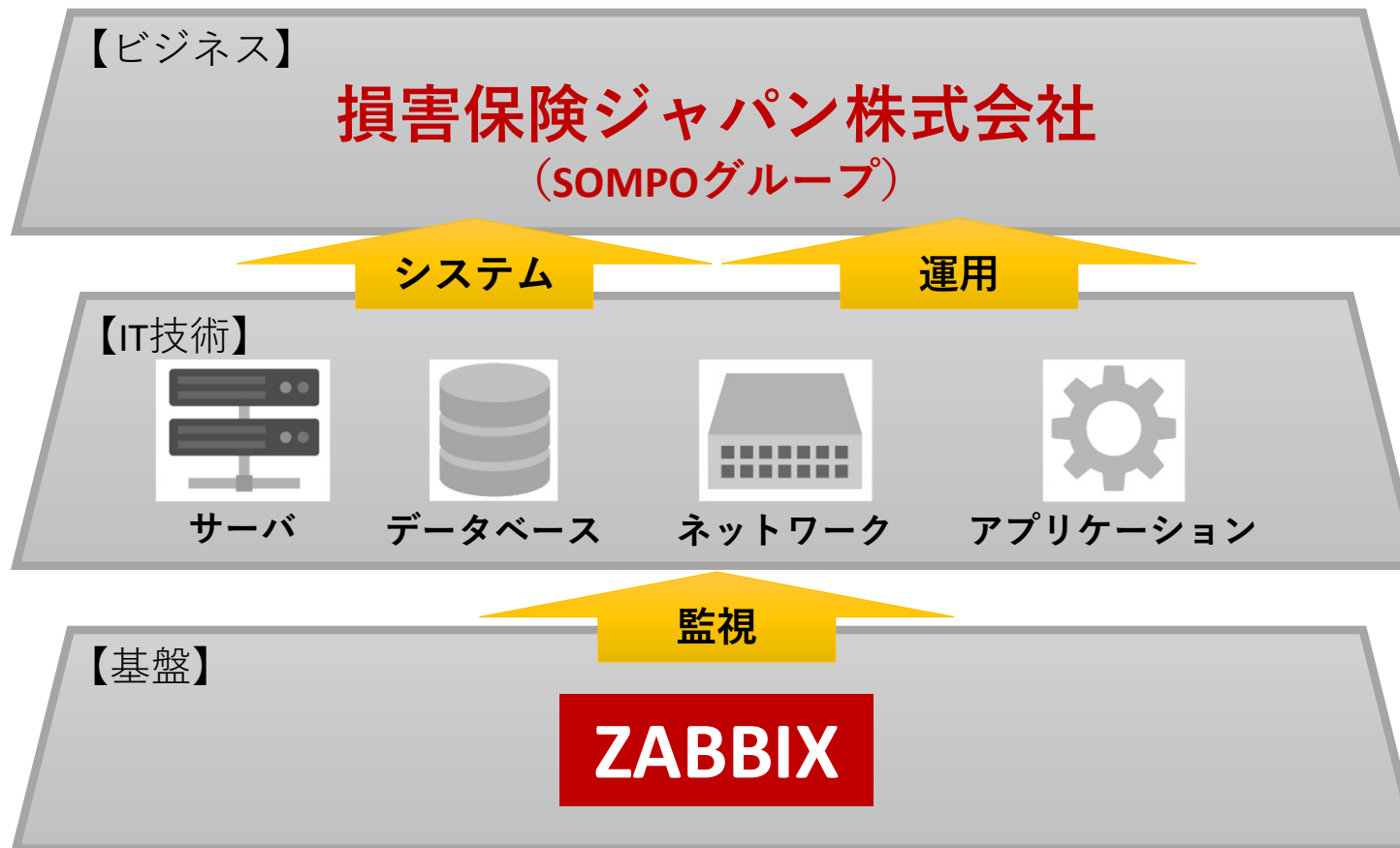
- 担当

SOMPOシステムズにおけるZabbix監視基盤の維持・運営を担当。



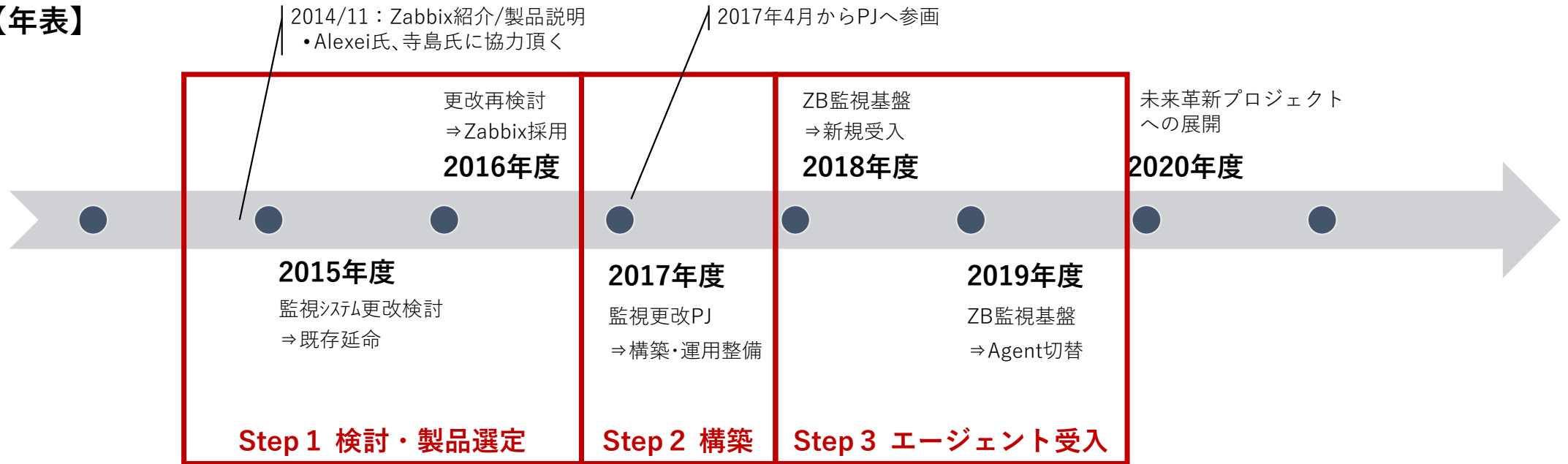
Zabbix監視基盤の役割

- Zabbixはビジネスを支える重要な基盤



監視基盤の沿革

【年表】



有償製品での監視基盤（基盤ST／アプリST／本番・災対）

Zabbix基盤構築

現Zabbix監視基盤（基盤ST／アプリST／本番・災対）

Zabbix3.0LTS

未来革新PJ向け監視基盤

Zabbix4.0LTS

最新ZB監視基盤

Zabbix5.0LTS

【監視基盤の沿革】

本日のアジェンダ

1. Zabbixを採用に至った経緯
2. ZabbixというツールがZabbix監視基盤となるまで
3. Zabbix監視基盤の使い方・使われ方
4. まとめ：Zabbix導入による効果
5. 最後に：Zabbix社に向けて（今後の期待と要望）

1. Zabbixを採用に至った経緯

監視基盤の沿革

【年表】



有償製品での監視基盤（基盤ST／アプリST／本番・災対）

Zabbix基盤構築

現Zabbix監視基盤（基盤ST／アプリST／本番・災対）

Zabbix3.0LTS

未来革新PJT向け監視基盤

Zabbix4.0LTS

最新ZB監視基盤

Zabbix5.0LTS

【監視基盤の沿革】

Zabbix導入前の監視環境（2016年度当時）

• 2つの監視基盤

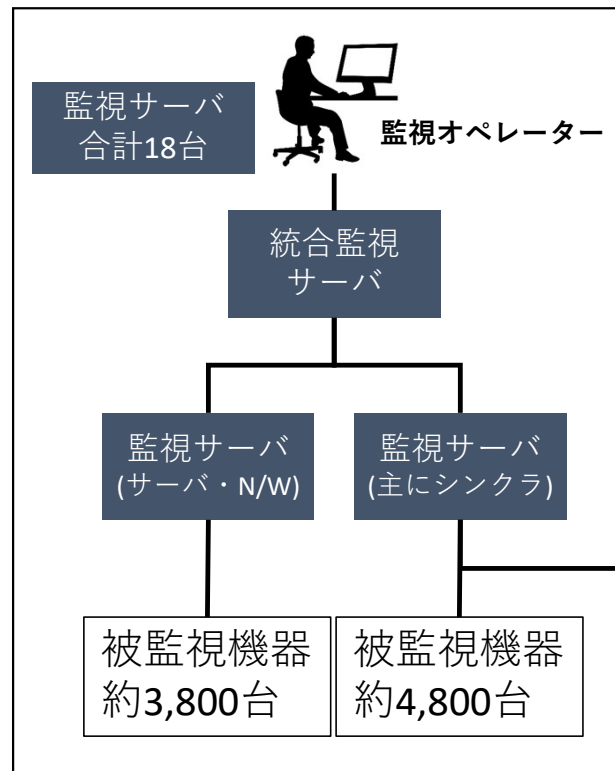
• オンプレミス監視システム

- 監視サーバ数：**18台**
- 監視ノード数：8,000以上

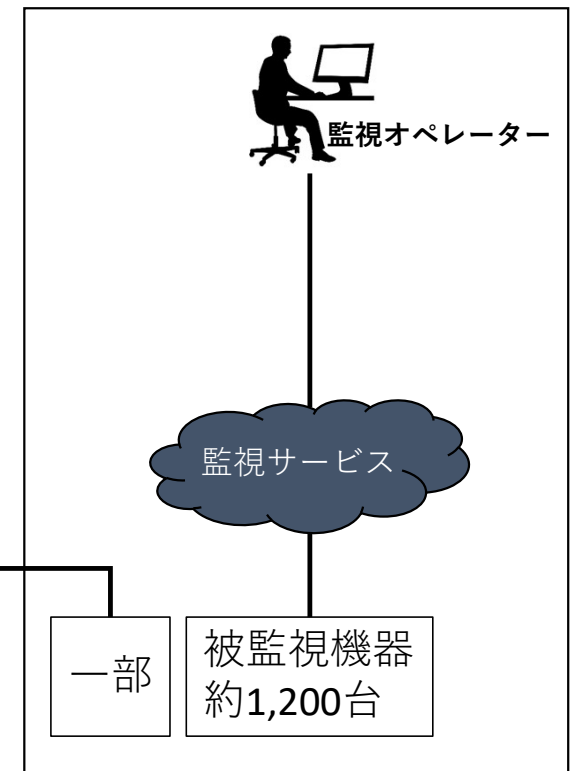
• 外部監視サービス利用

- 従量課金制のサービス

【オンプレミス監視システム】



【外部監視サービス】



当時の課題

課題	
監視基盤のハードウェア保守老朽化	更新作業に高額なコスト
運用保守コストの削減	スキルの俗人化
監視登録工数の増大	マネジャー台数の増加、構成の複雑化
新規受入時の影響調査/レグレッション対応	柔軟性・拡張性の欠如
オペレータによる手動でのアラート通知	工数の肥大化



課題払拭の為に、監視基盤のリニューアルを決断

製品選定に至るまで



□ コスト低減に対する方針

- 極力シンプルなサーバ構成における作業コストを削減、監視運用作業の適正化
- 監視項目のテンプレート化や監視登録作業のスリム化といった効率化（監視登録コストを削減）
- 監視対象台数によって利用額が増減しない監視製品を採用することにより、ライセンスコストを削減

□ 監視システムの刷新にあたっての方針

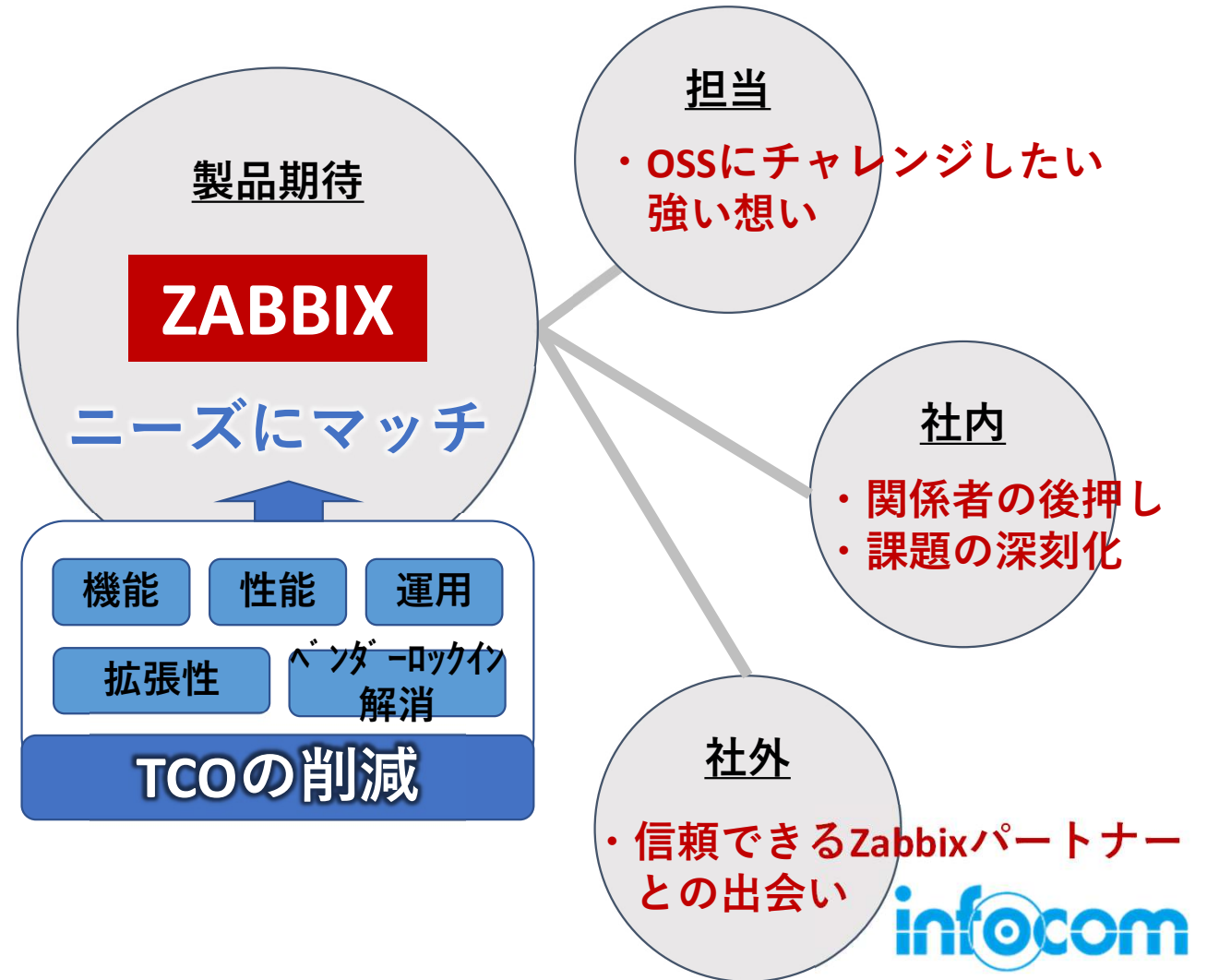
- 監視サーバの構築・運用に関するスキルを社内要員が習得し、実作業へも積極的に参加することで、技術面におけるベンダ依存を脱却
- 監視登録作業の内製化を検討し、ベンダに依存しない運用体制を策定することでベンダロックインの状況から脱却
- OSS製品を採用することにより、メーカー側の利用制約に囚われない監視サービスの柔軟性や即時性を確保

選定結果

製品比較

製品への期待

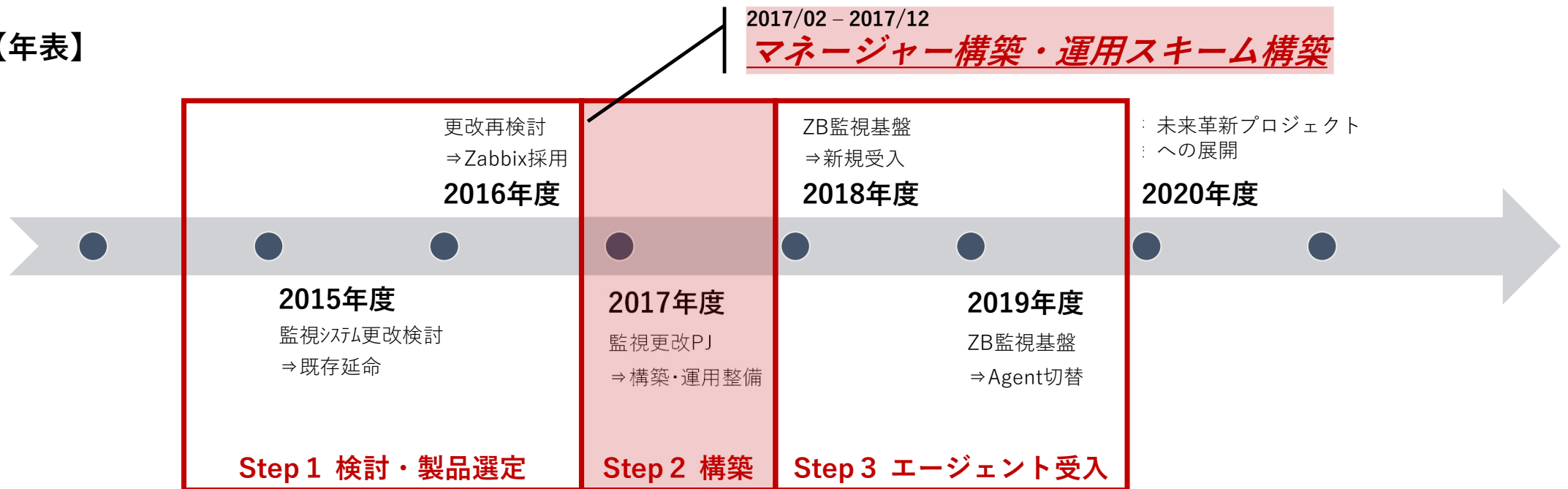
- ライセンス維持コスト
- 導入、構築の容易さ
- 1万台規模を監視
- 監視登録の自動・簡易化
- 社員対応（スキル習得）



2. Zabbixというツールが Zabbix監視基盤となるまで

監視基盤の沿革

【年表】



有償製品での監視基盤（基盤ST／アプリST／本番・災対）

Zabbix基盤構築

現Zabbix監視基盤（基盤ST／アプリST／本番・災対）

Zabbix3.0LTS

未来革新PJT向け監視基盤

Zabbix4.0LTS

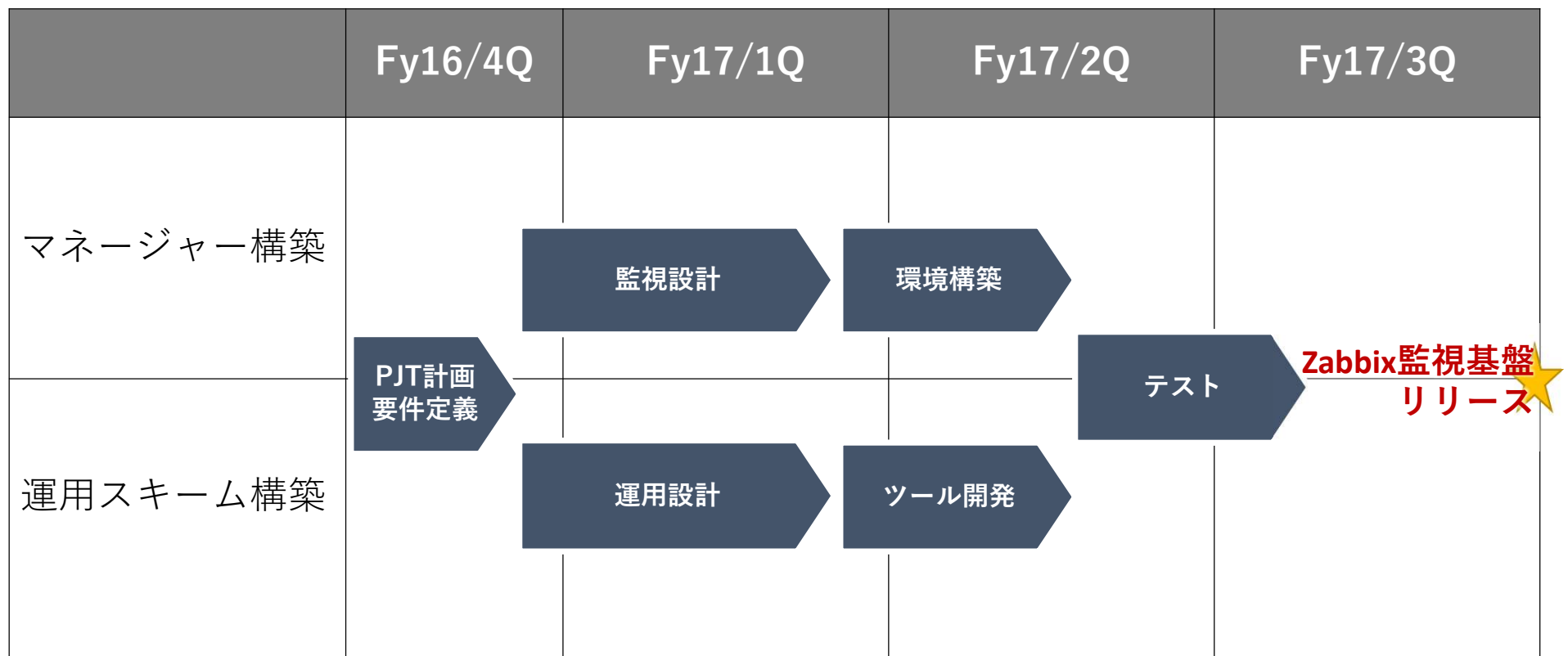
最新ZB監視基盤

Zabbix5.0LTS

【監視基盤の沿革】

マネージャー構築・運用スキーム構築の概要

- 監視システム更改プロジェクト（2017/02 – 2017/12）



システム構築とともに、運用スキーム構築にも注力。

プロジェクトで直面した課題・対策と効果

【直面した課題】

要求要件定義

- ・必要な監視機能の洗い出し
- ・最新化されてないドキュメント

設計構築

- ・利用要件を如何に標準化するか
- ・既存からの移行方式の確立（設定マイグレーション）
- ・エージェント切替方式の確立（想定される膨大な作業）

運用スキーム再構築

- ・監視業務運用の確立（スキル・手番）

【対策】

現状のアセスメント
標準外機能に特化した要件確認

標準化設計の推進・実行

マイグレーション手順の確立

移行手番・仕組みの確立

登録作業の自動化

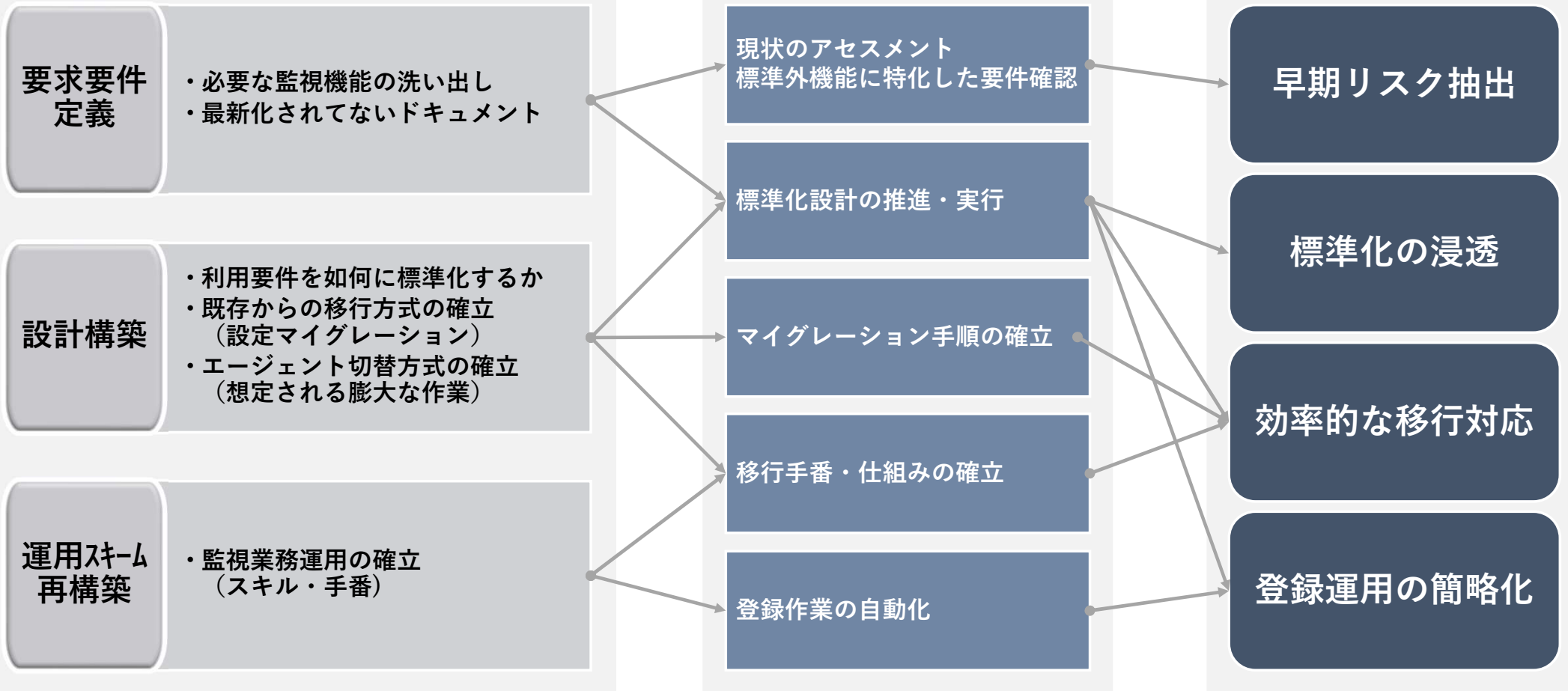
【効果】

早期リスク抽出

標準化の浸透

効率的な移行対応

登録運用の簡略化



リリース後のZabbix監視基盤

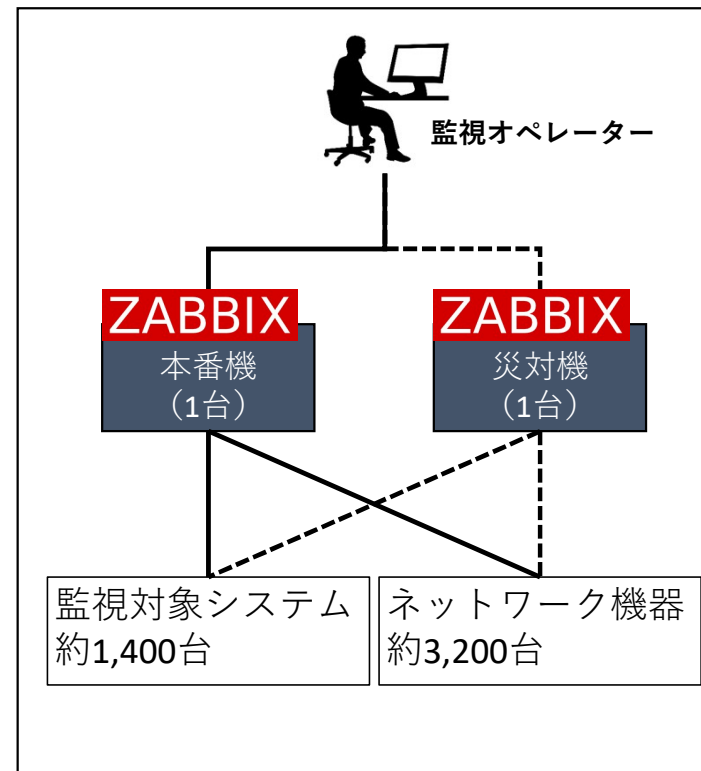
- Zabbixサーバへ監視を集約

従来製品
監視サーバ
18台 → Zabbix
監視サーバ
2台

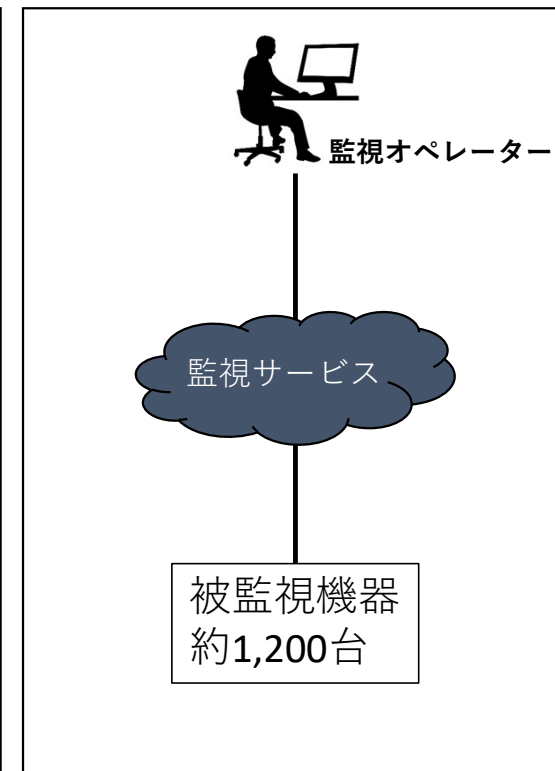
- 問題、課題を解決、実現

一部外部サービス依存からの脱却
自社にてZabbix監視基盤の維持保守を実施

【現Zabbix監視基盤】

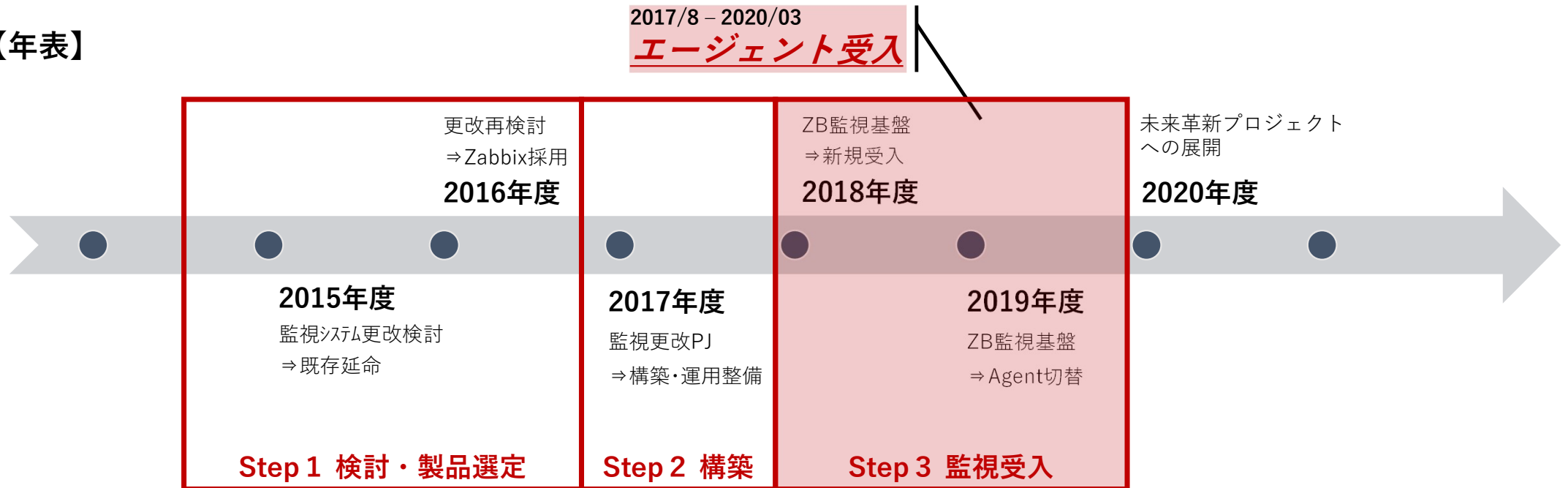


【外部監視サービス】



監視基盤の沿革

【年表】



有償製品での監視基盤（基盤ST／アプリST／本番・災対）

Zabbix基盤構築

現Zabbix監視基盤（基盤ST／アプリST／本番・災対）

Zabbix3.0LTS

未来革新PJ向け監視基盤

Zabbix4.0LTS

最新ZB監視基盤

Zabbix5.0LTS

【監視基盤の沿革】

Zabbix監視基盤の状況

監視対象システム



1,800台



ネットワーク基盤



3,200台



Zabbix監視基盤

本番・災対環境

ZABBIX



本番機 (1台)

ZABBIX



災対機 (1台)

- 監視規模
 - 5000台、100,000監視項目
- Zabbixパフォーマンス
 - 300データ受信/秒(NVPS)
- 画面参照ユーザ
 - 100名

イベント参照

システム担当者



イベント参照

監視オペレーター



3. Zabbix監視基盤の特徴

Zabbix監視基盤の主な特徴

● Zabbixサーバの構成

- 商用環境は、センター間冗長による構成

● Zabbixサーバの収容効率化

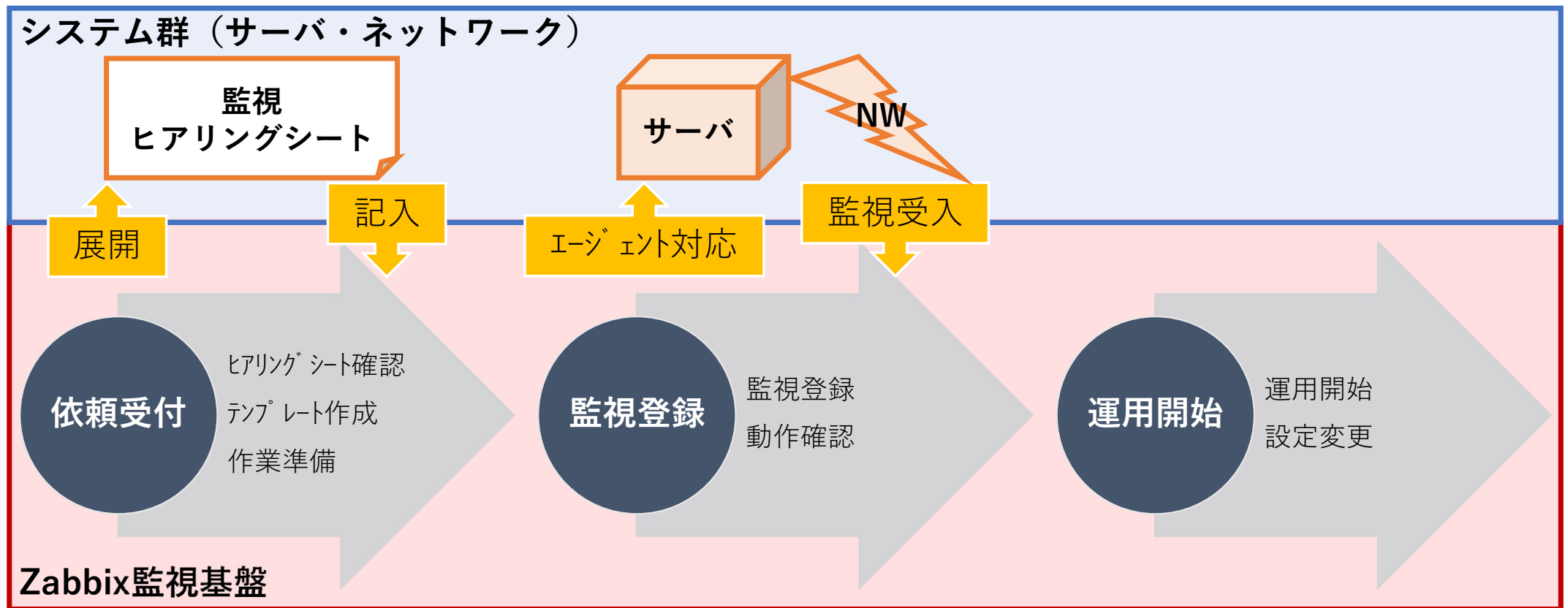
- 監視対象機器1台あたりの監視項目数を抑制
- Zabbixサーバ側の負荷を抑えられ、Zabbixサーバ台数を最小化

● 監視項目の標準化

- 監視項目の標準化による定常業務における作業工数の削減
- APIツール活用することにより、大規模の運用コストの削減

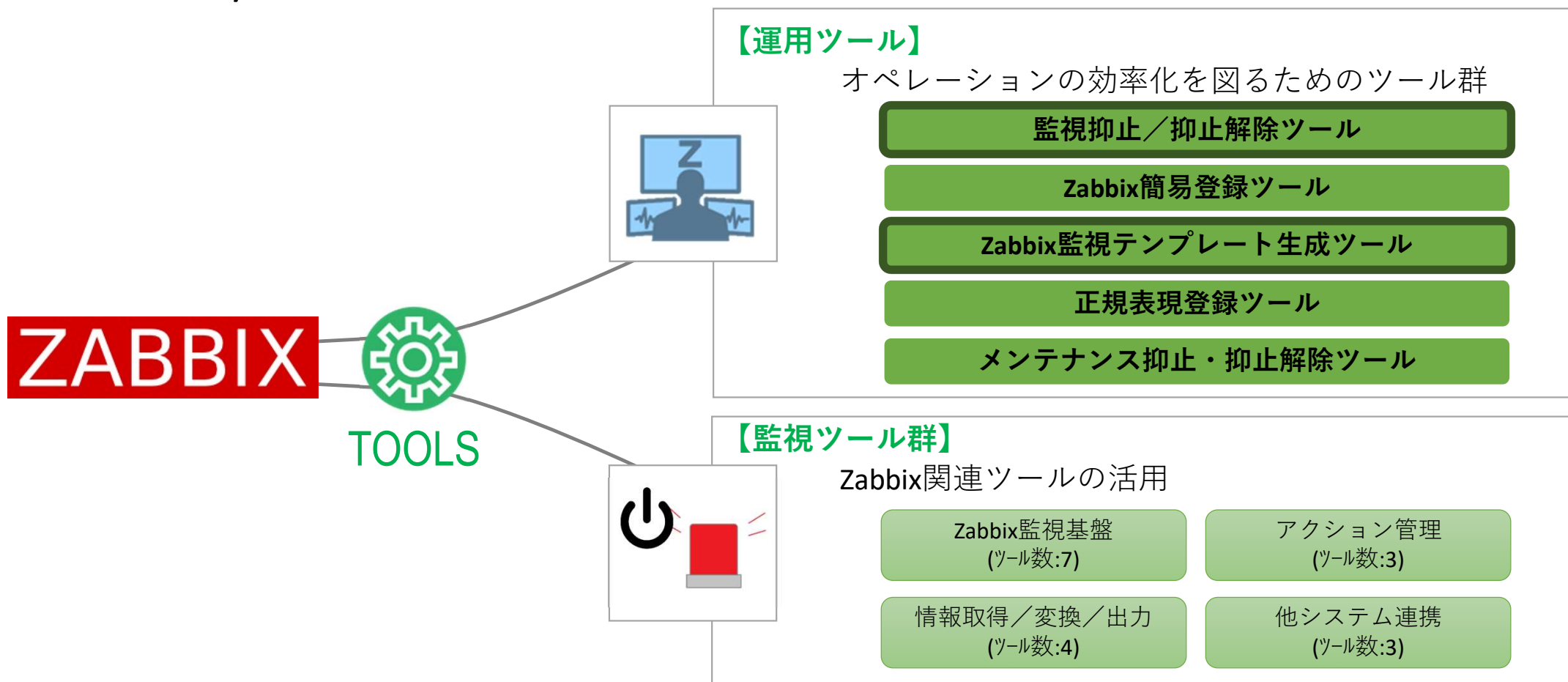
特徴例：Zabbix監視への監視登録の流れ

- Zabbix監視基盤からヒアリングシート発信し、標準化に基づき監視を設定

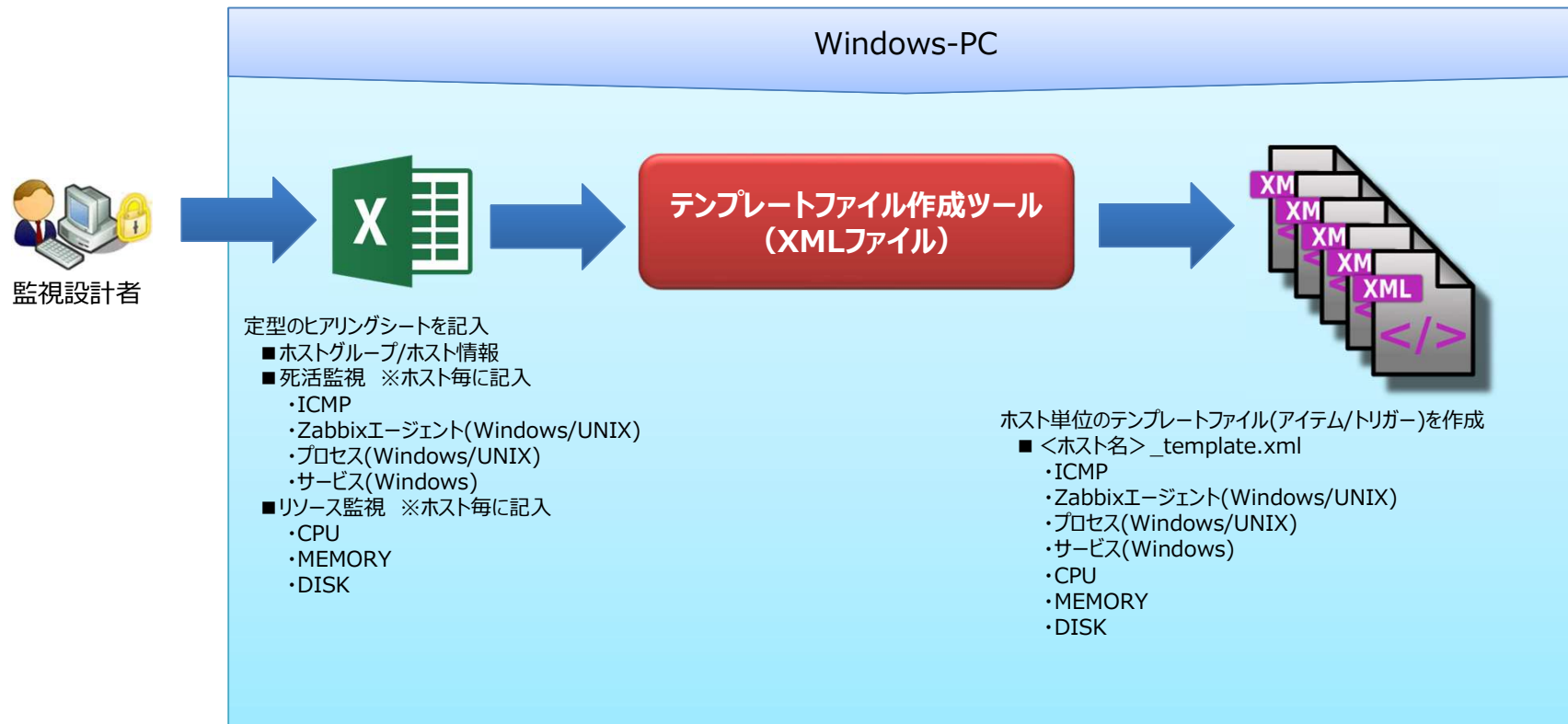


特徴例：Zabbix APIツール活用について

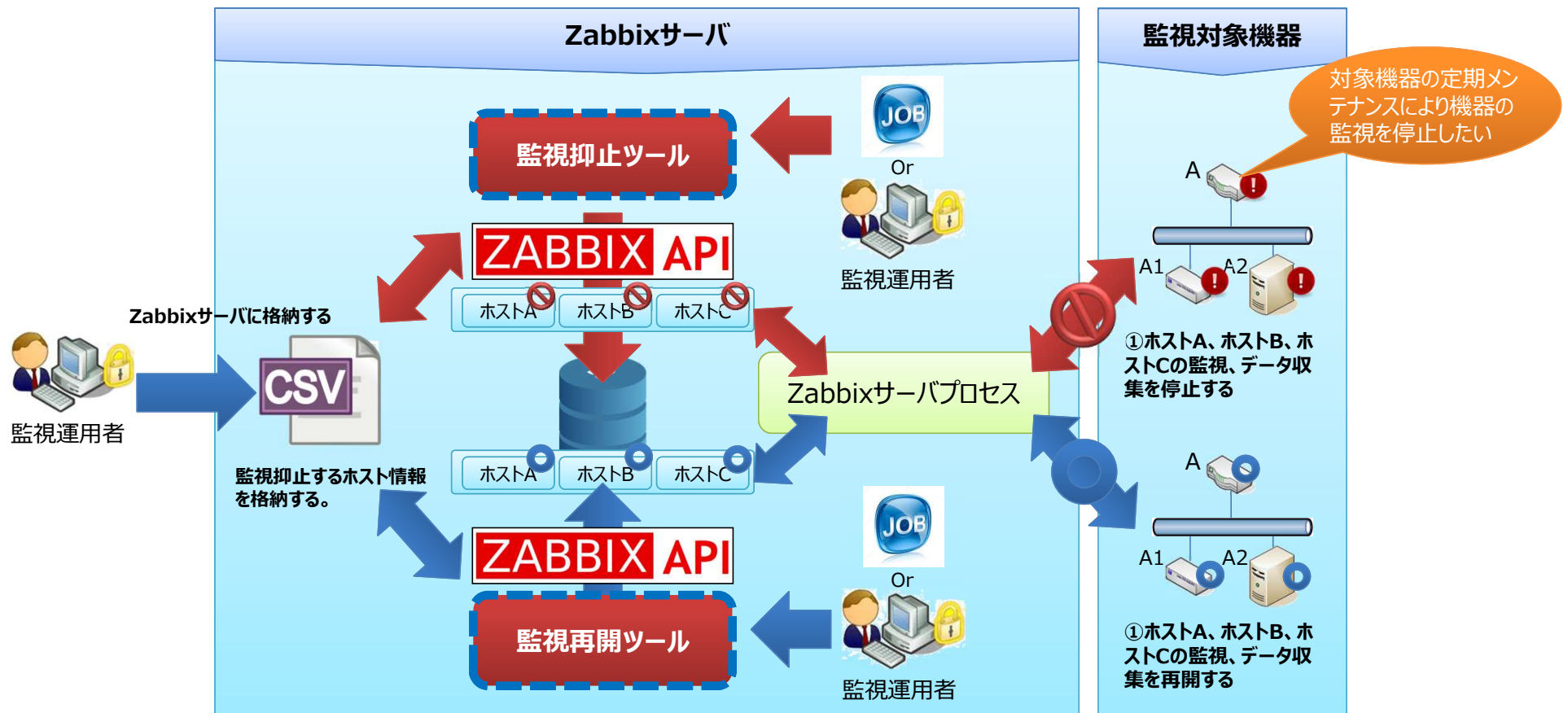
- 自動/効率化での稼働工数削減を念頭にツールを活用



ツール例：Zabbix監視テンプレート生成ツール



ツール例：監視抑止／抑止解除ツール



4. まとめ： Zabbix導入による効果

Zabbix導入による効果

課題

- 監視基盤及び運用複雑化
- 監視設定の管理
- 運用保守コストの削減
- 監視登録の作業工数
- アラート通知の肥大化
- スキルの属人化
- 柔軟性、拡張性

Zabbix
導入

導入効果

- サーバ構成及び運用設計見直しによるシンプル化
- マネージャ側での監視設定一元管理
- Zabbix Enterpriseサポート活用による運用保守コスト減
- 監視登録作業の自動化による作業工数減
- メール送信機能による監視オペレーション工数減
- 内製化による社員対応可能化及びベンダーロックイン解消
- Zabbix API利用ツール開発による高い柔軟性及び拡張性

5. 最後に：Zabbix社に向けて

(今後の期待と要望)

今後の更なるZabbixへの期待とユーザ立場からの要望

- Zabbix監視基盤の維持・運営を担当する立場として期待と要望

LTSバージョンのより長期サポートへの対応

- Zabbixサーバの長期サポート（標準5年間サポートの拡張）
- Zabbixエージェントサポートは永年対応を期待します。

メンテナンス機能の拡充

- Zabbixダッシュボードのフィルタ設定の拡充
曜日+時間指定、毎日時間指定、期間フルタイム、期間+時間指定、
大量検知対策等、大量フィルタへの対応



SOMPOシステムズ

安心・安全・健康のテーマパーク